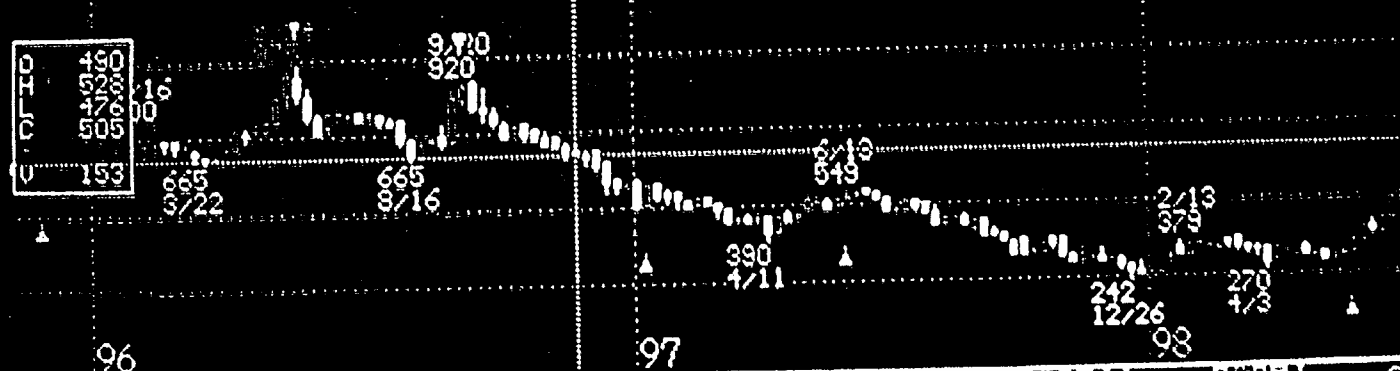
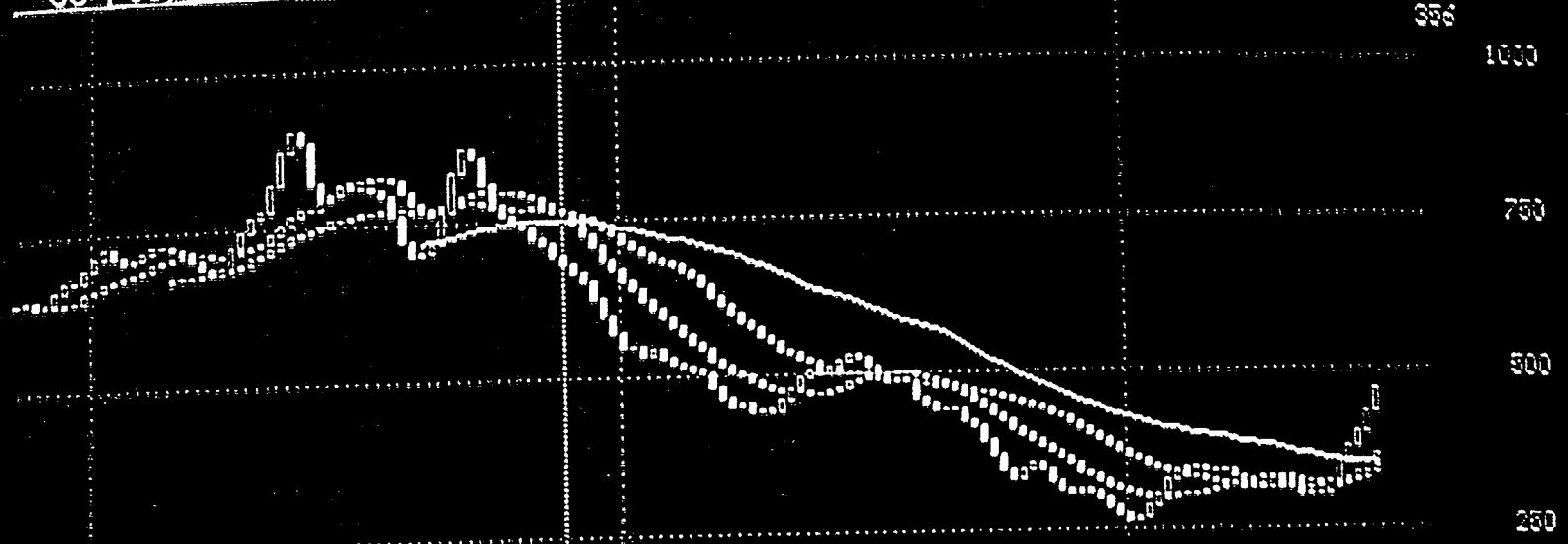


別紙（一） 図表目録

左記の図表各上段部分のうち、AからBまでの範囲の部分

- 1、六七六三 帝通工（添付図表①）
- 2、六八〇三 ティアック（添付図表②）
- 3、七七五三 ミノルタ（添付図表③）
- 4、七九八八 ニフコ（添付図表④）
- 5、八六〇四 野村証券（添付図表⑤）

95年11月10日 ~ 98年7月8日 (単) 万株 S 東証小型 6763 [帝通]



98-11-23	
O	690
H	705
L	670
C	670
Δ	0
U	41

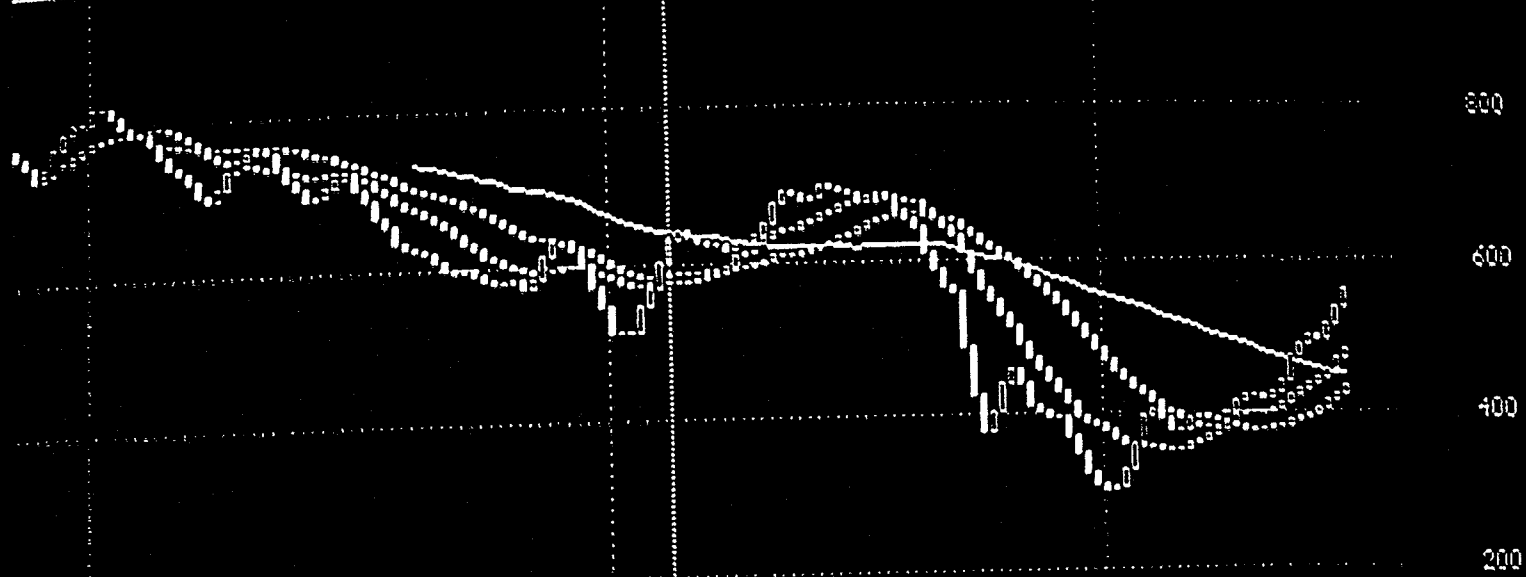
96	97	98
株平均 52	最高日 28	最高日 13
754.46	770.23	764.77
	767.08	763.23
		693.67
		680.33

-31.3%

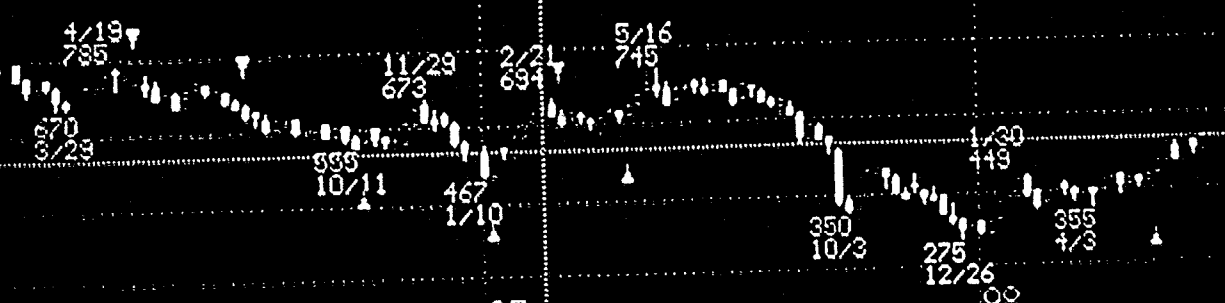
← A

← B

95年11月10日~98年7月8日 (単) 万株 S 東証小型 6803 [ティアック]



高	670
低	323
開	38
閉	38

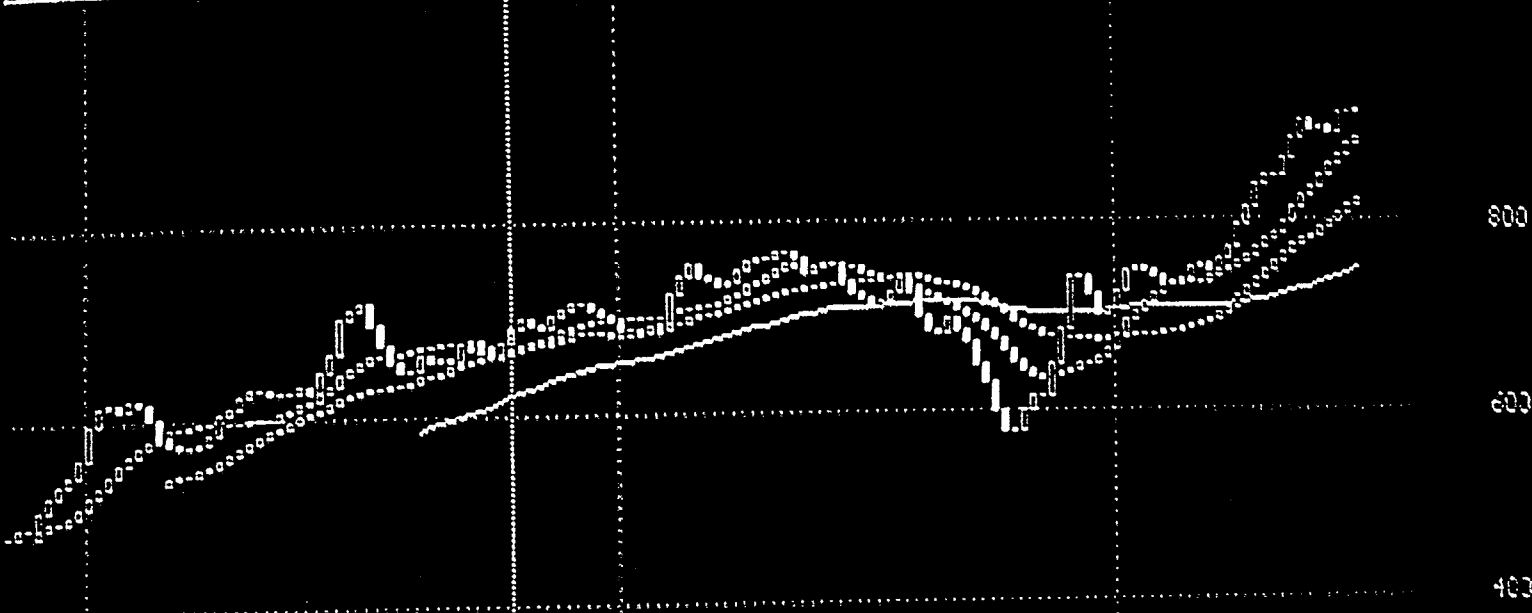


97-02-21	
O	640
H	694
L	637
C	653
Δ	18
U	557

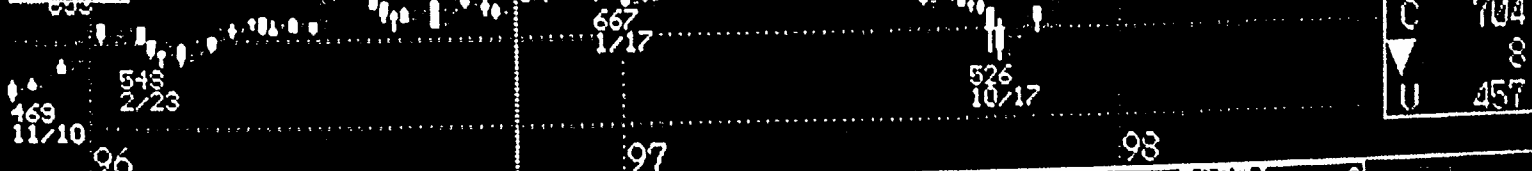
96	97	98
株平均 52	株平均 28	株平均 13
644.48	586.38	585.50
	578.08	578.00
		630.33
		603.33

-23.8%

95年11月10日 ~ 98年7月8日 (単) 万株 S 東証大型 7753 ミノルタ



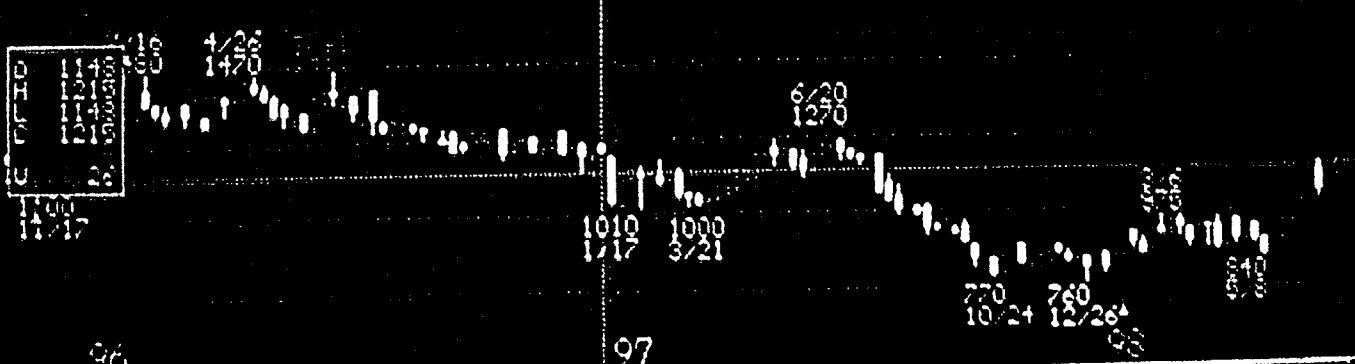
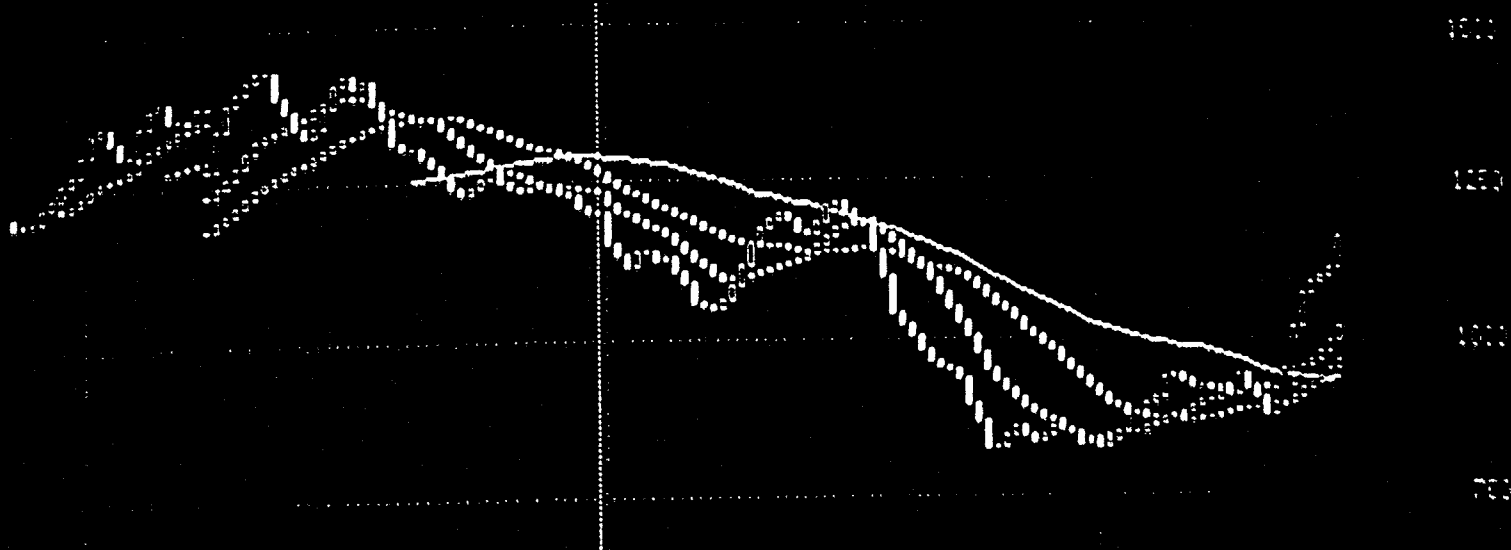
H 925
C 925
L 894
U 900
V 111



98-10-25
C 712
H 722
L 691
C 704
▼ 8
U 457

株平均	52	自陽日	28	陰陽	26	自陽日	13	陰陽	13	自陽日	3	陰陽	3	
	622.02		666.81		664.46		669.92		666.08		690.33		677.33	-25.9%

95年11月10日~98年7月8日 (単) 万株 S 東証小型 7998 【ニフコ】



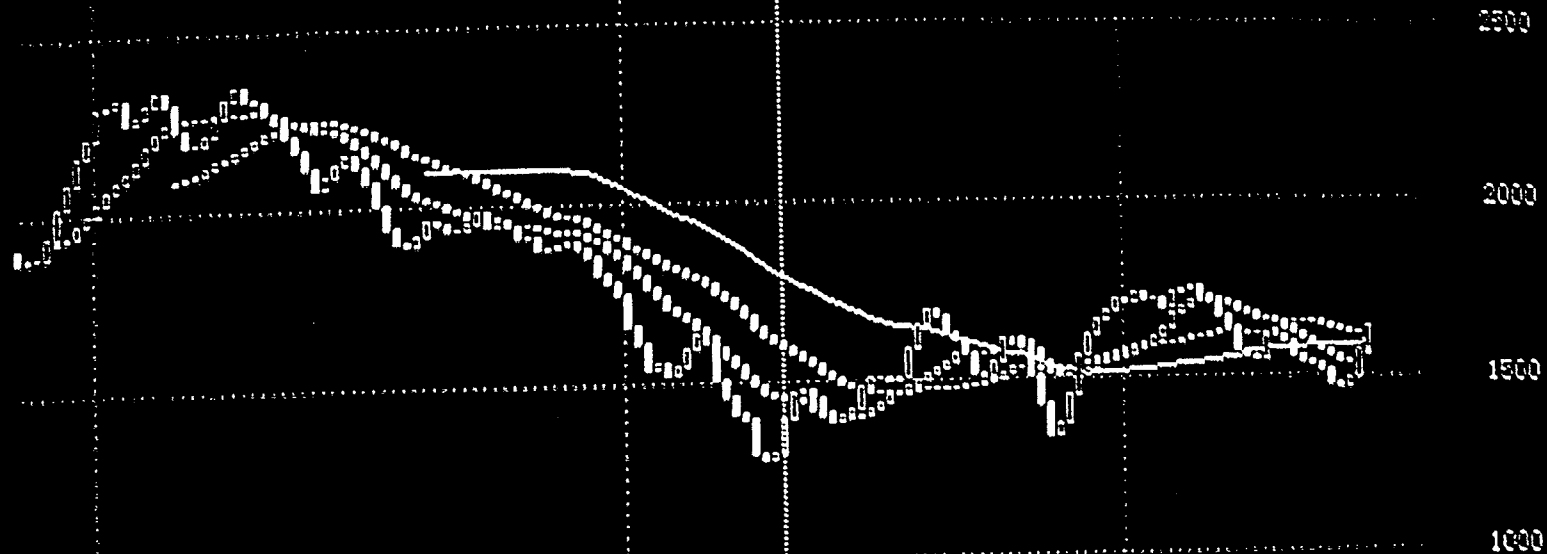
平均	58	平均	28	平均	18	平均	18	平均	8
1282.45	1272.81	1263.46	1235.33	1230.77	1203.33	1200.00			

O	1280
H	1280
L	1210
C	1210
△	28
□	1

-19.20



95年11月10日~98年7月8日 (単) 万株 S 東証大型 8604 [野村証]



H	1679
H	1698
L	1652
L	1632
U	451

11/17

96

株平均	52日	26日	26日	13日	13日	3日	3日
1799.81	1611.15	1595.38	1454.62	1449.23	1390.00	1293.33	-38.3%

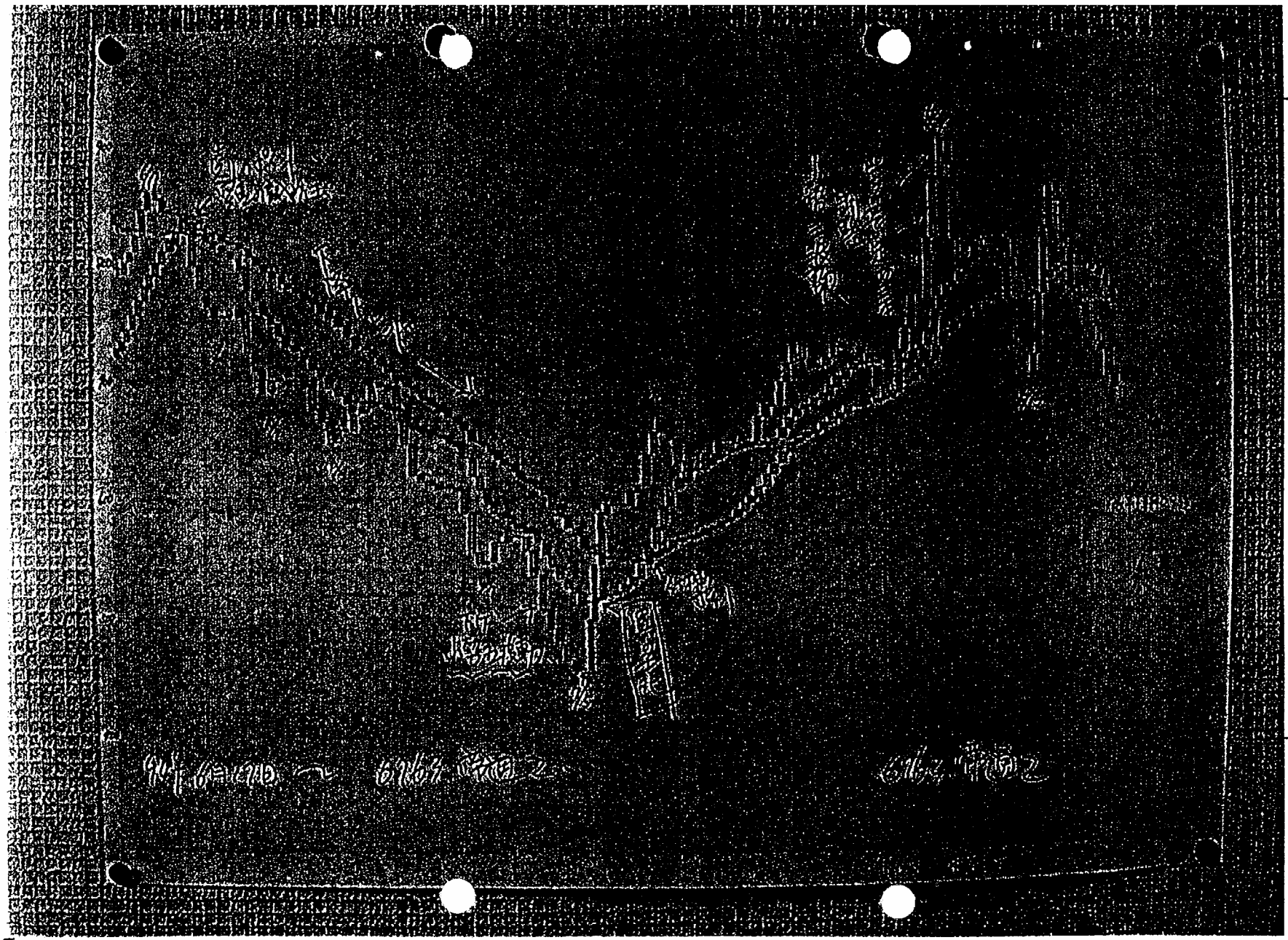
97-05-08	
O	1370
H	1480
L	1360
C	1480
Δ	90
U	1742

← A
← B

別紙（二） 図表目録

左記の図表の各上段部分のうち、aからbまでの範囲の部分

- 1、 W C 六七六三 帝通工（添付図表イ）
- 2、 W C 六八〇三 ティアック（添付図表ロ）
- 3、 W C 七七五三 ミノルタ（添付図表ハ）
- 4、 W C 七九八八 ニフコ（添付図表ニ）
- 5、 W C 八六〇四 野村証券（添付図表ホ）



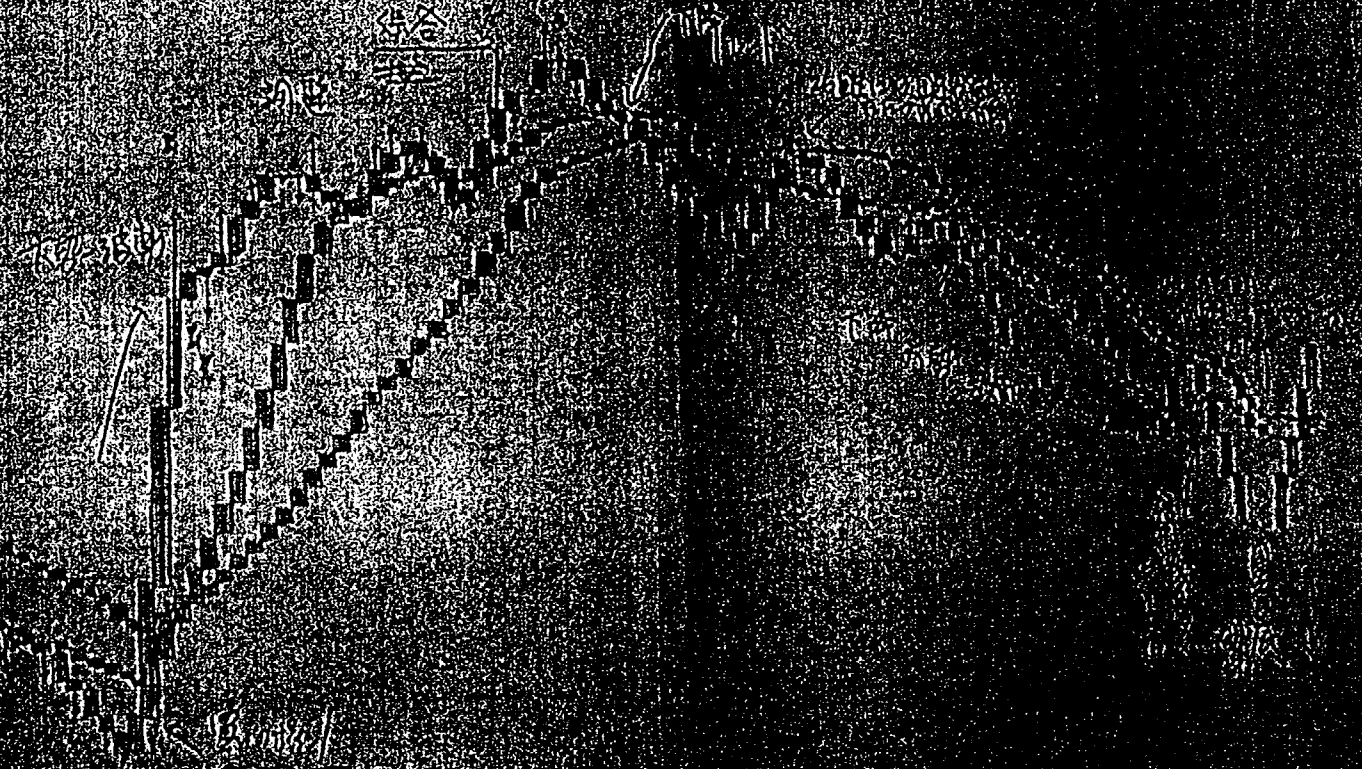
a

b

200

100

50



TRUSS

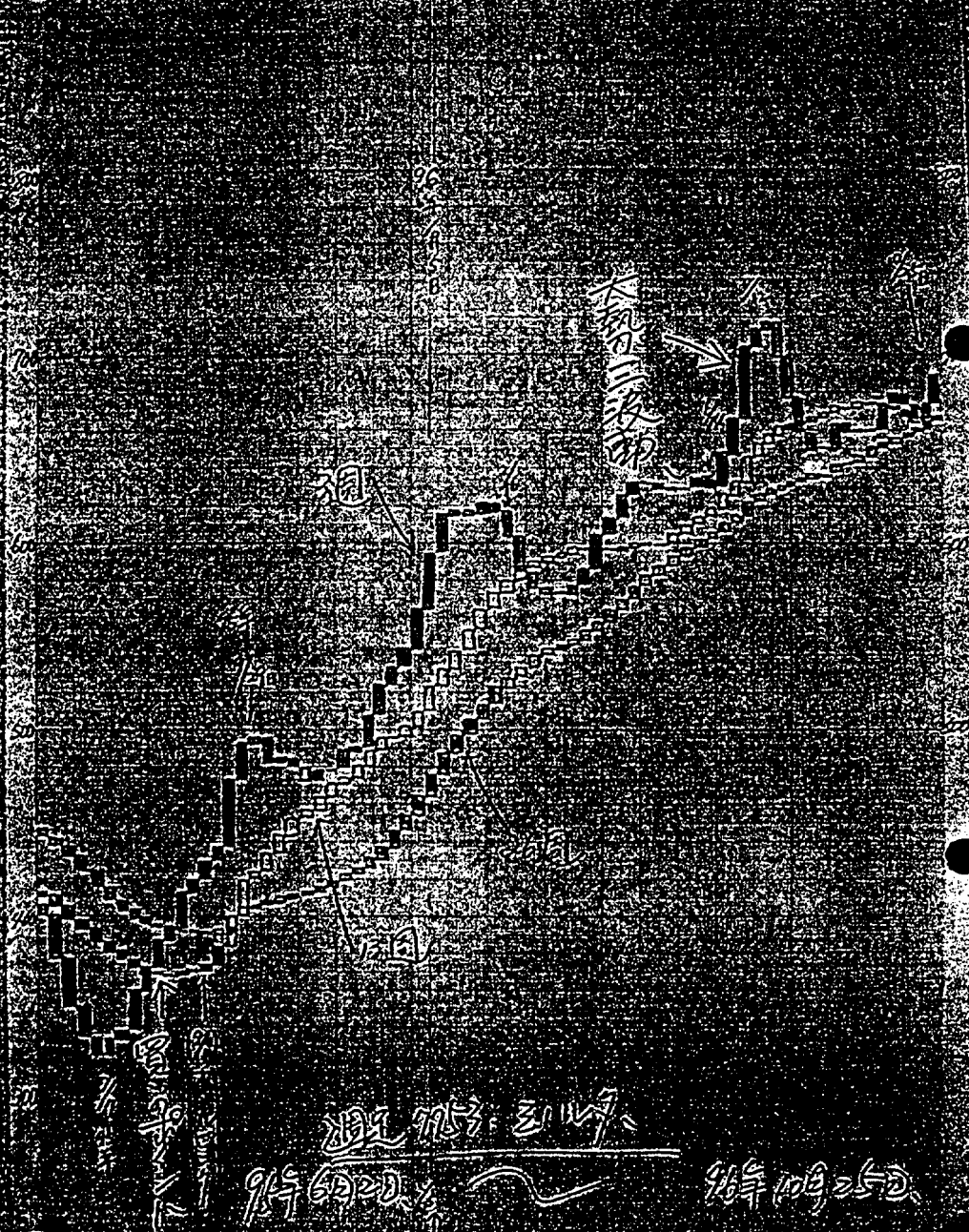
100

95.5 31.5 68.5 7.5 10.5

a

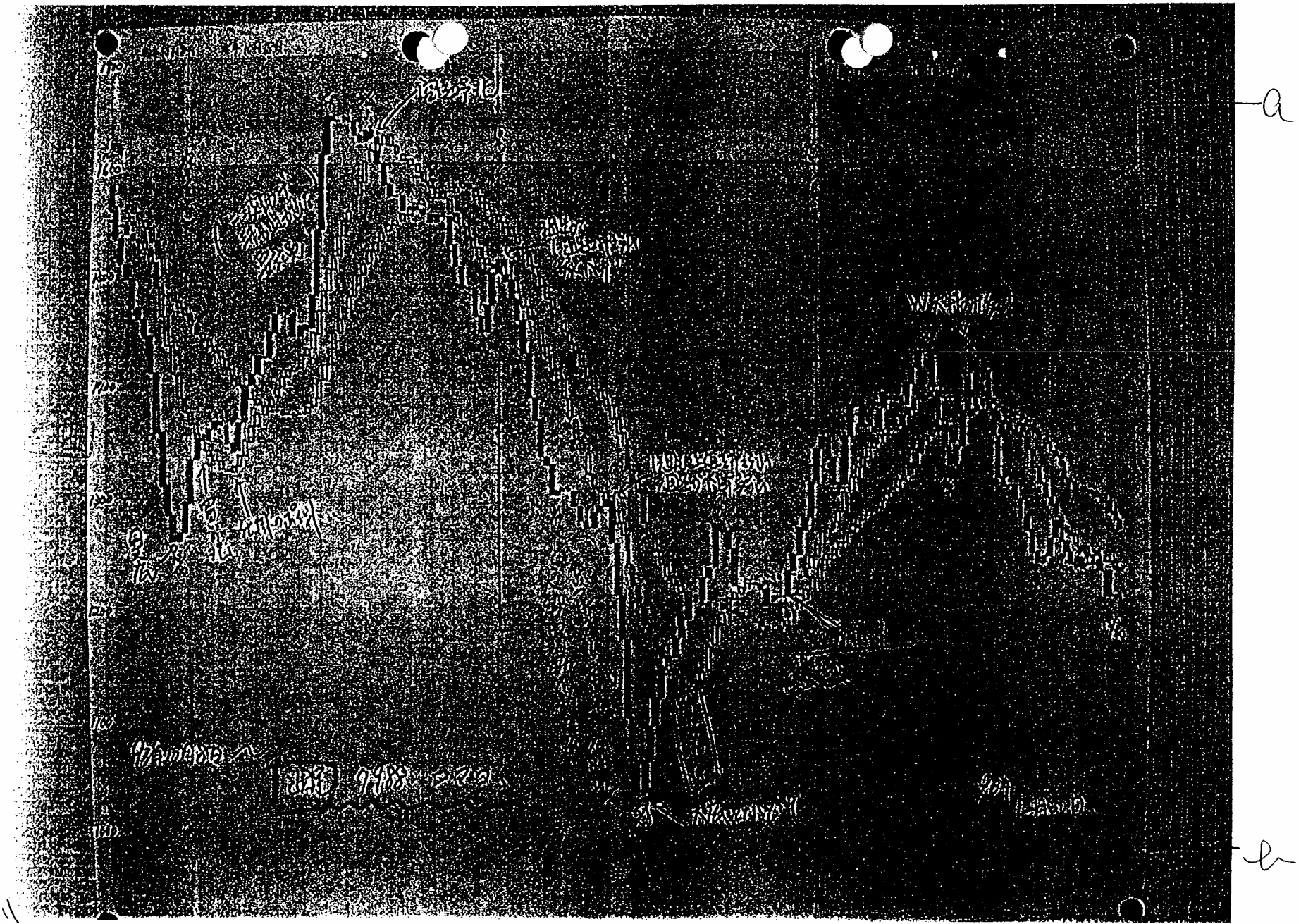
b

95年6月20日 96年10月25日 王明



a

b



Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.



Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or date.

Small handwritten text or mark located in the bottom right corner of the page.

別紙（三）

本件図表の描き方

本件図表の描き方は次のとおりである。

イ 共通条件

- （a）連続する相場立会日、相場立会週末日、相場立会月末日の終値を使用する。
- （b）計算日数と計算週数には、相場立会のない日や週を含めない。
- （c）除数値は、単位を決めて、四捨五入する。
- （d）本件図表における足は、矩形であり、大きい値と小さい値の値幅を示す。値幅がなければ、線で示される。
- （e）陽足と陰足は任意の色分けをする。

(なお、以下においてSは短期足を、Mは中期足を、Lは長期足をそれぞれ描く期間を示す。)

ロ 日足チャート

(a) (計算当日を含む、連続過去S日間の終値合計) ÷ S と (計算直前日を含む連続過去S日間の終値合計) ÷ S。とによる足を連続して計算日毎に描く。

(b) 右記のSをM及びLとした足を連続して計算日毎に描き、互いに、短期足、中期足、長期足として、組み合わせる。

(c) 当日の計算値が、直前日の計算値より大きい場合は、陽足とし、小さければ陰足とする。

(d) S日、M日、L日の設定数は、自由であるが、一般には、S日は三日、M日は二五日、L日は七五日を使う。

ハ 週足チャート

(a) (計算週末日を含む、連続過去S週間の週末終値合計) ÷ S と (計算直前週末日を含む連続過去S週間の週末終値合計) ÷ S。とによる足を連続して計算週毎に描く。

(b) 右記のSをM及びLとした足を連続して計算週毎に描き、互いに、

短期足、中期足、長期足として、組み合わせる。

(c) 当週末日の計算値が、直前週末日の計算値より大きい場合は、陽足とし、小さければ陰足とする。

(d) S週、M週、L週の設定は、自由であるが、一般には、S週は三週、M週は一三週、L週は二六週を使う。

二 月足チャート

(a) (計算月末日を含む、連続過去S月間の月末終値合計) ÷ Sと

(計算直前月末日を含む連続過去S月間の月末終値合計) ÷ S。と
による足を連続して計算月毎に描く。

(b) 右記のSをM及びLとした足を連続して計算月毎に描き、互いに短期足、中期足、長期足として、組み合わせる。

(c) 当月末日の計算値が、直前月末日の計算値より大きい場合には、陽足とし、小さければ陰足とする。

(d) S月、M月、L月の設定は、自由であるが、一般には、S月は三月、M月は一二月、L月は三六月を使う。